

市内医療機関
安全管理担当者各位

2022年8月24日

日頃より医療の安全に御尽力いただき誠にありがとうございます。
この度、至急点検・確認を行っていただきたい事案が生じました。

多くの医療機関において、入院患者等へ投与する酸素は、医ガス室の酸素ボンベから供給されています。

主たる酸素ボンベ(タンク)の残量が少なくなると警報が表示されるとともに、補助(予備)タンクから酸素が供給される仕組みになっています。

今回、補助(予備)タンク側のコックが閉じていたために、酸素供給が途絶える事案が生じました。

通常は、供給源が自動的に補助(予備)タンクへ切り替わり、酸素の供給が行われるため、本件同様の事象の場合、医療現場で酸素供給の不具合の発見が遅れる恐れがあります。

複数の患者に重大な健康被害が生じる恐れがありますので、至急点検・確認をお願いいたします。

併せて、警報が発報した場合は、医療ガス会社へ酸素供給の連絡を行うだけでなく、患者への酸素供給が継続しているか、適切な確認を徹底して行うよう、よろしくをお願いいたします。

横浜市健康福祉局感染症対策・健康安全室
健康安全部医療安全課

TEL : 045-671-3656 FAX : 045-663-7327

E-mail : kf-iryoanzen@city.yokohama.jp
